

下記の内容で議員研修を受講しましたので報告します。

報 告 書

美祢市議会議長 荒山 光広 様

2025 年 8 月 29 日

日本共産党 美祢市議会議員三好睦子

記

視察月日 2025 年 8 月 23 日 (土)

研修行程 午前 10 時～午後 4 時 40 分

場所 ポートメッセなごや・コンベンションセンター

「生活保護をあたりまえの権利に」

1 生活保護行政の実態 講師：桜 啓太

自治体の運用格差とその影響について

生活保護は全国共通の制度ではあるが、自治体ごとに運用や保護動向には大きな違いがある。公平な制度運用が大事である。

2 保護基準の引上げと生活保護の最大限活用で住民の暮らしを守る。講師：吉永 純

物価高騰に中生活保護基準は引き下げが続いている中、月 500 円アップになったが、利用者は厳しい生活を強いられている。暮らしを守るという観点で。

3 自治体の不適切な運用をなくする。議員活動について 講師：田川英信

「生活保護は権利」といっても制度の利用を不当に阻まれ、相談することもあきらめている実態がある。

4 自動車保有を変えれば生活保護行政が変わる。講師：太田伸二

車の保有が高いハードルになっている。

※ 美祢市の状況について一般質問のテーマとして取り上げた。

子育て世代の車の保有は認めるべき。

※ 実際、美祢市で生保の相談に行って、申請しても却下されるケースが多い。

聞くだけ聞きまくって、そのあとは却下に。何とか解決せねば、と、「重層的支援」と言いながらの前向きがないという実態を実感した。



【感想：付帯決議・修正ができるぐらい力をつけたい。学習したい。予算書を市民の立場で見れるかどうか、力をつけたい。

3 歳入にまつわる地方財政の動向

日本の人口減少。公共施設の削減。公共施設の適正管理。

【感想：人口減少による公共施設の在り方、活用の仕方を考えいかに活力ある美祢市にするか真剣に考えるべき。市民の声もししかり聴くことが大事。】

4 予算書の読み解きと質問・質疑のポイント（歳入編）

歳入のチェックポイント

- ① 地方税（県・市）
- ② 地方税 固定資産税（無申告者への対応状況に留意）
- ③ 贈与税・交付税
- ④ 分担金・負担金（受益者から徴収する特定財源）

【感想：依存財源をしっかりとチェックしたいと思った。

民生費の負担金、老人福祉費負担金、児童福祉費負担金の一部の徴収がある。

- ⑤ 使用料・手数料

【感想：使用料の減免が公平に行われているか？過去から続く減免制度は、現在も合理的なものか？

- ⑥ 財産収入

- ⑦ 地方債

寄付金、繰入金、繰越金、諸収入

1 予算書の読み解きと質問・質疑のポイント（歳出編）

要チェック

① 需用費

消耗品費、会議費（食糧費）、印刷製本費、光熱水費、修繕料、

② 委託料

業務委託料、指定管理料、

③ 使用料及び賃借料

使用料、リース料、

④ 工事請負費

⑤ 負担金、補助及び交付金

補助金

⑥ 繰出金

3 実務を生かす質問・質疑を目指して

行政サービスへのニーズは時代に応じて変わるので変化に応じて、行政サービスをアップデートする。